

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	企業との連携を通じた環境成長要因の分析活用事業		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	環境計画課		中尾 豊	
会計区分	一般会計		施策名	9-3 環境政策の基盤整備			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)において、環境分野が我が国の強みを活かす成長分野の一つに位置づけられているように、環境分野が新たな成長を牽引することが強く期待されている。こうした「環境と成長の両立」を実現するため、企業や産業界と緊密に連携しながら、環境ビジネスの成功要因の分析、環境ビジネス振興のための支援策の検討等を行い、その成果を広く共有し、企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>環境ビジネスに役立つ「実学」の立場に立って、環境分野別・環境産業の属性別(消費財・資本財・中間財・輸出財)に、環境ビジネスのベンチャー企業や先進企業を抽出し、当該企業へのヒアリング等を通じその成功事例を収集・整理し、各事例から共通する環境ビジネスの成功要因やビジネス上の障壁及びその克服策、成長を促進するための取組について分析を行うとともに、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のための支援策を検討する。</p> <p>※24年度要求においては、上記の個別企業単位での分析に加え、環境産業の業種別に、市場規模データ等を用いて、過去10年程度の動き、現状及び将来動向を概観した上で、特に、規制や助成等の政策要因が市場規模に大きな影響を及ぼした産業、市場規模の動向と将来の景況感の動向にギャップのある産業や市場規模に特異な変化が見られる産業について、関係業界や有識者等へのヒアリングや、環境技術の特許取得数など当該産業に関係する様々なデータを用いた解析等により、詳細な要因分析を行うこととしている。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	-	10	9
		繰越し等	-	-	-	0	
		計	-	-	-	10	9
	執行額	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	環境ビジネスの実態を把握・分析し、その成果を広く企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的としているため、定量的な成果目標の設定は困難			成果実績	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	-			活動実績(当初見込み)	-	-	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成23年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	(目)環境保全調査等委託費						
	(1)環境ビジネスの成功事例の収集・分析	10	5				
	(2)環境産業の変動要因に関する分析	0	4	環境産業の変動要因に関する分析業務(業種単位での分析)を新規要求			
	計	10	9				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○本事業は平成23年度新規事業であるが、「資金の流れ、費目・使途」について、支出の透明性を確保するため、予算要求の段階から委託費で予算要求を実施		
予算監視・効率化チームの所見			
	事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					